

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 信 仰	(ふりがな) しんこう	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	ハヤマ信仰 (祭場)		
伝承地域	飯舘村大倉		
由来	<p>(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか)</p> <p>福島県内にはハヤマと呼ばれる秀麗な山が点在し、豊作を祈る信仰がある。ハヤマは阿武隈山地に多く分布し、羽山、葉山、端山、麓山などの字をあて、奥山に対する端山の意である。信仰の対象は山そのもので、古態を保つものには社殿はない。</p>		
内容	<p>岩井山福善寺の本堂の中央に祭壇が設けられ、半搗きのおみさき、御酒、大根、白菜などの神饌、青竹で作った2メートル程の大梵天2本、翌日の「山かけ」の折、処々の神々供える白幣5本、同じく山頂のハヤマの神に納める餅を入れた包、大小各1個、それに色幣、宣童の持つ宣幣 (のりべい) 2本、鳥居に下げる注連縄、お札などが供えられてある。祭壇の下、他より一段高いところの中央にノリワラ (宣童) が座し、その左右に祭りの執行者である僧侶3名、そこより一段低くなっているところに20余名の籠もり人が座る。籠もり人の多くは子どもで、その中に「ごんだち」と呼ばれる赤い縁取りをした袖無しを着た者がいる。祭りには8歳ぐらいから参加し、3年間「ごんだち」を勤め、後は一人前の籠もり人となる。祭りの間手にする御幣は五色のもので、各人の願い事が書かれており、翌朝、お山かけの折に山頂のハヤマ様に納めてくる。</p>		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	飯舘村教育委員会	電話0244-42-1611	

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)	-----		※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵
	性別・年齢 生年月日	男 ・ 女 明治・大正・昭和・平成	歳 年 月 日 生	

	住所・電話	〒 電話	与願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。)
	職 業		
団 体	団体名 (ふりがな)		
	代表者氏名 (ふりがな)		
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日
	問い合わせ先		電話

【フリーフォーマット】

キーワード

<祭場となる福善寺本堂>



(2013年2月)